

平成22年度社会福祉法人匠瑛市社会福祉協議会事業計画

1. 事業方針

厳しい経済環境が続き、雇用不安を背景とした、失業や収入の減少等により、日常生活全般に支障を抱え、支援を必要とするような新たな生活課題・福祉課題が地域の中で起こっている。

また、これまで、地域共同体や家族による支えあい・助け合いにより対処されてきた生活課題も少子高齢化、核家族化等により課題解決の機能が縮小、停滞しつつある。

一方、介護保険法、障害者自立支援法等の施行により、福祉サービスの量、質とも拡充しているが、公的な福祉サービスだけでは対応しきれない生活課題も地域で明らかになっている。

これらをふまえ、地域福祉を推進する社会福祉協議会としては、住民主体の原則に基づき、関係機関との協働と役割分担による地域福祉活動を展開し、その課題解決に向け努力する。

2. 重点事業

- ・福祉コミュニティの基盤作りの地区社協活動の強化
- ・地域福祉フォーラム事業の推進
- ・地域福祉の理念を生かした居宅介護支援、居宅訪問介護事業の充実と効率的運営
- ・小規模多機能型居宅介護施設「紙ふうせん」の運営
- ・ボランティア活動の充実強化
- ・児童デイサービス「マザーズホーム」の運営
- ・生活福祉資金貸付相談員の設置による貸付事業運営体制の強化

